

ゆりかご



目次

- スタッフ紹介.....2
(看護部3・4階病棟)
- トピックス.....3~6
 1. 紹介患者の予約診療を行っています
 2. 消防訓練を実施しました
 3. 院長特別講演(第16回別府治療手技研究会)
 4. 市民病院忘年会が行なわれました
 5. 院内コンサートを開催しました
 6. TQM発表会を開催しました
- 各種チームの紹介.....6~7
 1. クリティカルパス推進委員会
 2. 環境管理委員会(ISO14001)
- 院内研修会・研修報告会.....7
- 新病院建設進捗状況.....8

スタッフ紹介

3階病棟を紹介します。

3階病棟は産科婦人科を主にした混合病棟です。

地域周産期母子医療センターの役割を担い、さらに婦人科手術、化学療法、検査目的の患者様が入院されています。

昨年5月より助産師と看護師が協働し参加型の母親学級を開催しています。

妊娠中より出産や母乳育児への不安を軽減し、出産へ向けて前向きな気持ちになれるよう支援しています。

妊婦さん同士の交流も図れ、リラックスできる楽しい場となっています。



4階病棟を紹介します。

私達の働く4階病棟は、子どもの泣き声や笑い声で明るくとてもにぎやかな小児病棟です。病床数は57床で、そのうち9床はベビー室となっています。

可愛い子どもですが、自分で訴えることができず、症状の進展が急激なのが小児の特徴です。そんな可愛い子どもたちの安全を守り、穏やかにすごせるようにすることが私達の大切な任務です。若い素敵な7名の小児科医と、1名の小児外科医、そして若いピチピチの看護師やお母さん的な優しい看護師、保健師等がチームを組み、一丸となって医療を提供しています。

逆に、子どもは回復力が旺盛で、平均在院日数も6日前後と短く、とても回転の速い病棟です。そんな中でも、状態に応じて遊びを取り入れ、学習支援を行ったり、また七夕やクリスマス会などの年間行事はもちろん、週一回紙芝居を行ったりして、少しでも入院生活が楽しくないように、成長発達の妨げとならないように日々頑張っています。

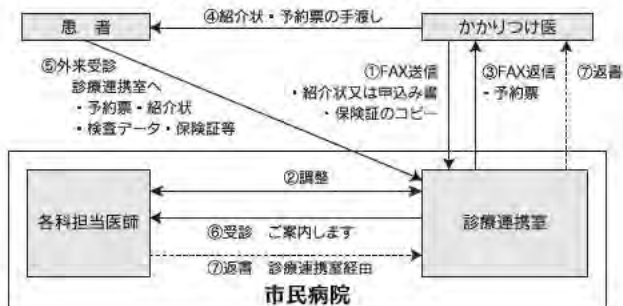


トピックス

紹介患者の予約診療を行っています。

紹介状持参患者の待ち時間短縮のため、下記のとおり予約診療の体制を整えました。予約なしで診療情報提供書等を持参いただいた患者の受診につきましても従来どおり対応させていただきます。希望される外来受診日までに余裕がある場合は、ご利用ください。

【紹介患者の予約診療の流れ】



消防訓練を実施しました

1月18日に消防訓練が実施されました。今回は5階病棟からの出火を想定した訓練でしたが、院長の講評にもあったようにすばらしい出来栄でした。



避難袋からの脱出を体験した

佐々木放射線技師の感想

消防訓練に避難袋からの脱出を初めて体験しました。6階の高さにも驚きましたが、避難袋での脱出は周りが見えないせいでしょうか、不安はなかったのですが、やはり加速するにつれてつい肘を張り摩擦で肘やら熱くなるので患者さんの誘導には注意が必要でしょうか。

軸丸放射線技師の感想

実際に避難袋を使ってみると、見た目の高さにも不安なく安全に脱出できるのではないかと感じました。脱出ははしご車を使ったものもあります。また初期消火、患者搬送、本格的な消防訓練を体験することにより、スムーズな行動をとることの必要性を感じ、日頃からの意識がけを痛感しました。



トピックス

第16回別府治療手技研究会の特別講演を終えて

池田 正仁

平成23年12月3日、別府市で開催された第16回別府治療手技研究会にて、「外科の革命—Doomゼロからの将来」との標題で特別講演を行いました。講演では、内視鏡外科手術の黎明期から現在までを敷衍し、更にその未来を展望して持論を展開してまいりました。師走の多忙な中、別府のみならず大分や県北から沢山の医療関係者が駆け付けて下さり、本当に有り難く思いました。とりわけ、当院の医師、看護師の皆さんのお顔を会場で拝見でき、とても嬉しく思いました。この場をお借りして御礼申し上げます。

別府治療手技研究会は今から16年前、急激な展開をみせる治療技術の革新を眼前にして、安全で確実な治療実践のためには、知識に裏打ちされた高度かつ先端的治療手技を地域の医療関係者と共有することが重要と考え、国立別府病院（当時）に在籍した私が諸先輩とご相談のうえ立ち上げたものです。今回、本研究会もその役目を十分に果たしたものとして、この第16回をもって会を閉じることになりました。奇しくも、本会生みの親の私が会の幕引きの講演を託されることになりましたが、任を終えるとともに若かった発会当時の仲間や自分自身を思い起こし感慨深い夕べとなりました。

蘭学の火は豊前国中津藩・前野良沢が灯し、同藩の福澤諭吉が消したとも言われています。時節にあつては、継続を断つことも新たな進歩、発展に繋がるものと信ずるに至った次第です。



写真の説明

写真はテネシー州最大の都市メンフィスにあるBaptist Memorial Hospitalとその前に立つ私（小さく写っています）です。

若かりし日の私は、米国で開発間もない新規手術（TEPP）を修得すべく、当該手術の第一人者であるVoeller博士を同院に訪ね、指導を受けました。帰国後は、実践的理論に基づく手術手技の実際をわが国の外科医に紹介し、今日まで一貫して新しい手術の普及に努めております。

トピックス

市民病院忘年会

平成23年12月9日に中津市民病院の忘年会が開催されました。

今年の参加者は過去最高でエンターテイメントも盛りだくさんであり、池田院長の喉自慢の披露もあり、非常に盛会でした。

エンターテイメントは凝った趣向が多く、非常にハイレベルでしたが、今年度の優勝チームは、薬局+岸原Dr・白水Drが2年ぶりに奪還しました。

昨年度優勝の5階の「白い巨塔」も力作でしたが、一歩及びませんでした。



岸原Dr・白水Drの雄姿をご披露できないのがとても残念です。



院内コンサートを開催しました

中津市民病院では、今秋の新病院開院に伴い、現病院のラストイヤーということで、感謝と惜別の思いを込めて、様々な催しを行なっています。

これからも、色んな催しを行ないますので、お楽しみに。



クリスマスコンサート

平成23年12月21日(水)

ひな祭りコンサート

平成24年3月2日(金)



◀小路 高史
(循環器内科医師)



Aya▶
(NOAS FM市民パーソナリティ)



トピックス

第10回TQM発表会

平成24年1月28日(土)中津市教育福祉センターにおいて、中津市民病院看護部主催第10回TQM発表会が開催されました。近隣の施設、団体、看護学校、本庁と院内・院外合わせ164名の方々にご参加を頂き盛会裏に終えることができました。

TQMとは、Total Quality Managementの略で、日常業務の中で各部署がかかえている問題について、質やサービスの向上、業務の効率化などの視点から少人数のグループで取り組み改善につなげていく活動のことです。

今年度は、各部署“接遇”をテーマに掲げ取り組みました。他に、看護必要度、防災設備に関すること、インシデントに関することなど計13題の発表を行いました。特に、接遇は病院職員にとって大変重要な課題です。各グループ、笑顔、挨拶、身だしなみ、患者対応などについて趣向をこらした発表を行いました。常に相手の立場となり、考えて行動することで、思いやり・看護とは…と自身を振り返る良い機会になりました。新病院に向けて今後もこの取り組みを継続し、質の向上に努めてまいりたいと思います。



各種チームの紹介

クリティカルパス推進委員会

当院のクリティカルパス作成は看護師中心に行われてきました。しかし、医師や看護師以外のコメディカルの参画が少ないのが問題で、看護師のみが苦労している状況を変革する必要があります。そこで平成22年度より、委員会の組織をパス作成チームと評価チームに分けるとともにパス大会を企画し、チーム医療の推進に寄与するというパスが持つ長所を發揮できるような組織改革を進めました。

今年度は1月27日に第2回クリティカルパス大会を開催しました。今回のテーマはこの秋の新病院開院に伴って導入される電子カルテを念頭においた「電子化パス」としました。まず、クリティカルパス推進委員会を代表し私が「電子化パス導入の問題点」として先日の医療マネジメント学会で聴講してきた内容を簡単に発表し、その後ペンダーから電子化パスについて実際に電子カルテ画面を開いて説明がありました。時間の制約もあり十分質問もできませんでした。残念ながら「説明を聞いてもよくわからない」というのが私を含めた出席者の偽らざる感想です。道のりは険しそうですが、電子カルテにおいてもパスをうまく使うことができれば、医療の効率化や標準化につながりますので是非ものにしたいと思います。

電子カルテ以外の演題として、産婦人科病棟から卵巣がんのTC療法のパスについて医師、看護師、薬剤師がそれぞれの立場からの取り組みを発表してくれました。特にバリエーション分析までしてくれたことはパス大会にふさわしいレベルの高い発表となりました。その他、小児科の医師が小児の細菌性肺炎のパスについて作成の苦労や考え方、今後の展開についてわかり易く解説してくれました。今回のパス大会も会議室が一杯になるほどの出席があり有意義な時間を過ごせたと思います。発表してくれた皆さん、勤務時間後でお疲れのところ出席してくれた皆さんに感謝します。

各種チームの紹介

環境管理委員会 (ISO14001)

「人と環境に優しい病院」を目指して、2003年3月14日にISO14001の認証を取得しました。それ以来、環境に関する様々な取り組みを行なっていますが、中でも毎週月曜日には、「環境整備」と銘打って院内と周辺の清掃活動を認証取得以来続けてきております。

また、今年度は東日本大震災による全国的な節電活動の中、当院も省エネを中心とした取り組みを行って来ました。今後も「人と環境に優しい」を合言葉に病院ならではの取り組みを行なっていきたいと考えています。



院内研修会・研修報告会

講演内容	日時	講師	
第6回九州放射線医療技術学会in鹿児島	1月5日	放射線副技師長	川村 倫子
第15回日本肝臓学会大会		副院長	横田 昌樹
第54回日本甲状腺学会学術集会	1月12日	内科医長	渡邊 哲博
胎児モニタリングワークショップ	1月19日	産婦人科医師	佐藤 新平
第467回日本小児科学会福岡地方会		小児科医師	後藤 綾子
第4回小児科医のための緩和ケア教育プログラム	2月2日	小児科部長	合志 光史
全国看護セミナー 〔入院期から始める退院支援・通院調整〕	2月9日	2F病棟看護長	南 千幸
		3F病棟看護長	出口 房江
		5F病棟看護長	熊 智子
第72回日本小児神経学会九州地方会	2月16日	小児科医長	金海 武志
がんの社会学		外来看護師	吉田 まつみ
がん看護コース研修会		外来看護長	山本 佳世
第75回大腸癌研究会	3月1日	外来看護師	吉田 まつみ
		第二主任外科部長	白水 章夫
経営分析アカデミー in宮崎		診療情報管理係長	橋口 誠
		医事係長	木下 巧

